

訂正表

One More（数学 I）

初版訂正箇所（2025 年 4 月 11 日公開分）

ページ	訂正前（訂正箇所）	訂正後
p.58	同値であることを表す.	同値を表す.
p.59	十分条件であり,	十分条件である,
p.59	(1) 条件 p, q を満たすものの全体の集合をそれぞれ P, Q とする. このとき, 「 p かつ q ($P \cap Q$)」は p, q がともに成り立つことを表す. また, 「 p または q ($P \cup Q$)」は p, q の少なくとも 1 つが成り立つことを表す.	(1) 条件 p, q を満たすものの全体の集合をそれぞれ P, Q とする. このとき, p と q をともに満たすものの全体の集合は $P \cap Q$, p または q のいずれかを満たすものの全体の集合は $P \cup Q$ である.
p.196	$\bar{x} = \frac{(x_1+x_2+\cdots+x_n)}{n}$	$\bar{x} = \frac{x_1+x_2+\cdots+x_n}{n}$
p.196	変量の集まりのこと.	変量の観測値や測定値をまとめたもののこと.
p.196	側注に追加	同じ値が重複する場合も, 省略せずにすべて並べる.
p.213	動画を差し替え（例題 I5.1.14）	2 次元コードを変更
p.213	正しいか否か	正しいかどうか
p.213	仮説は棄却されたと判断してよい.	仮説は棄却される.
p.222	新機能が役立つか否かは判断できない.	新機能が役立つとは判断できない.
p.389	新機能が役立つか否かは判断できない.	新機能が役立つとは判断できない.
p.391	仮説は棄却されたと判断してよい.	仮説は棄却される.
p.409	網羅系標準問題集	One More

第 2 版訂正箇所（2025 年 4 月 19 日公開分）

ページ	訂正前（訂正箇所）	訂正後
p.9	挿絵あり.	挿絵を削除.
p.10	挿絵あり.	挿絵を削除.
p.14	問題と解答の内容が不一致.	問題と解答の内容を統一.
p.150	挿絵あり.	挿絵を削除.
p.216	例題 I1.1.4 の解答が問題と不一致.	問題と解答の内容を統一.
p.226	問題と解答の内容が不一致.	問題と解答の内容を統一.
p.381	余白が不足.	余白を追加.
	爪かけ部分が不一致.	爪かけ部分を統一.

第3版訂正箇所（2025年5月14日公開分）

ページ	訂正前（訂正箇所）	訂正後
p.9	挿絵の配置を変更前.	挿絵を削除・追加.
p.10	挿絵なし.	挿絵を追加.
p.90	問題と解答の内容が不一致.	問題と解答の内容を統一.
p.109	節末 3.2.3 の小問が不足.	小問を追加.
p.125	余白が不足し、問題と解答の内容が不一致.	余白を追加し、問題と解答の内容を統一.
p.145	問題と解答の内容が不一致.	問題と解答の内容を統一.
p.149	章末 I3.5 の問題と解答の内容が不一致.	問題と解答の内容を統一.
p.150	挿絵なし.	挿絵を追加.
p.167	問題と解答の内容が不一致.	問題と解答の内容を統一.

第4版訂正箇所（2025年6月22日公開分）

ページ	訂正前（訂正箇所）	訂正後
	2 次関数に関する目次の表記が不一致.	目次の表記を統一.

第5版訂正箇所（2025年7月6日公開分）

ページ	訂正前（訂正箇所）	訂正後
p.42	整式の除法	多項式の除法
p.58	このような図をベン図という.	側注の位置を調整
p.80	f という記号は関数（function）という訳語の頭文字に由来する.	f という記号は関数と訳される単語（英語では function）の頭文字に由来する.
p.351	$67.5^\circ - 22.5^\circ = 45^\circ$	$67.5^\circ - 45^\circ = 22.5^\circ$
	ギリシャ文字の表	見やすい形にレイアウトを変更

第6版訂正箇所（2026年8月1日公開分）

ページ	訂正前（訂正箇所）	訂正後
p.18	展開公式の第1項が AB .	展開公式の第1項を AC に訂正.
p.46	$x - y$ の範囲の上端が $b - d$	$x - y$ の範囲の上端を $b - c$ に訂正.
p.64	$a^2 - 3a + 2$	$a^2 - 3a + 4$
p.69	$2x - y = 2y - 2 = 2$	$2x - y = 2y - 1 = 1$
p.71	定義域外の $n = 0$ を反例とする側注あり.	該当する側注を削除.
p.98	$a = 0$ のとき $f(x) = b$	$a = 0$ のとき $f(x) = 2b$
p.113	$3\sqrt{3}x^2 - 12x + 12\sqrt{3} = 0$	$\sqrt{3}x^2 - 12x + 12\sqrt{3} = 0$
p.123	問題 I3.3.12 に放物線の図なし.	解答に対応する放物線の図を追加.
p.132	定数項が -2	定数項を $+2$ に訂正.
p.154–155, p.221, p.342	題材がホテル・ビルで、距離が $20\text{ m} \cdot 30\text{ m}$.	題材を木、距離を 10 m に統一し、図・解答・略解を訂正.

ページ	訂正前（訂正箇所）	訂正後
p.168	$1 \leq a < \frac{17}{8}$	$2 \leq a < \frac{17}{8}$
p.187	余弦定理の該当項が正の符号.	該当項を負の符号に訂正.
p.197	標準偏差の定義が不正確.	標準偏差を分散の平方根 $\sqrt{s^2}$ と定義.
p.202, p.222, p.383	列挙データが 15 で, 解答が $x = 21$.	列挙データを 17, 解答を $x = 19$ に訂正.
p.208, p.388	記録値が 22, 35	記録値を 27, 30 に訂正.
p.209	標準化の定義が不正確.	$s_x > 0$, $x_0 = \bar{x}$, $c = s_x$ として標準化を定義.
p.213, p.390	表と人数が不一致で, 人数が 15 人.	表を統一し, 人数を 13 人に訂正.
p.213– 214, p.390– 392	仮説検定の判定方法が不正確.	有意水準との比較から棄却の可否を判断する内容に訂正.
p.214, p.391– 392	対象人数と解答が不一致.	対象人数を 38 人とし, 割合を求める解答に訂正.
p.220	実数解の個数に関する場合分けが不一致.	解答のすべての場合分けを訂正.
p.231	$10y^2 - 3y - 4$	$3y^2 - 8y - 3$
p.237	$(2x^2 + 2y^2)^2, (2x^2 - 2y^2)$	$(2x^2 + 4y^2)^2, (2x^2 - 4y^2)^2$
p.263	$(A \cap C) \cup (A \cap C)$	$(A \cap C) \cup (B \cap C)$
p.301	最大値をとる端点が $x = a + 3$.	最大値をとる端点を $x = a + 1$ に訂正.
p.302	解答図の目盛が 25 で, 表示が「最小」.	目盛を 18, 表示を「最大」に訂正.
p.349	$-1 < t \leq 1$	$-1 \leq t \leq 1$
p.380	解答図の両端値が 9	解答図の両端値を $\frac{9\sqrt{3}}{4}$ に訂正.
p.386	解答の途中式が問題の表と不一致.	途中式を問題の表に合わせて訂正.

One More（数学 A）

初版訂正箇所（2025 年 4 月 11 日公開分）

ページ	訂正前（訂正箇所）	訂正後
p.56	属する根元事象	含まれる根元事象
p.297	網羅系標準問題集	One More

第 2 版訂正箇所（2025 年 4 月 19 日公開分）

ページ	訂正前（訂正箇所）	訂正後
p.9	挿絵あり.	挿絵を削除.
p.10	挿絵あり.	挿絵を削除.

第 3 版訂正箇所（2025 年 5 月 14 日公開分）

ページ	訂正前（訂正箇所）	訂正後
p.9	挿絵の配置を変更前.	挿絵を削除・追加.
p.29	問題と解答の内容が不一致.	問題と解答の内容を統一.
p.172	節末 A3.1.3, 節末 A3.1.4 の略解が逆.	2 つの略解を入れ替え.
p.237	節末 A3.1.3 の解答が不一致.	節末 A3.1.4 の解答と入れ替え.
p.238	節末 A3.1.4 の解答が不一致.	節末 A3.1.3 の解答と入れ替え.

第 4 版訂正箇所（2025 年 6 月 22 日公開分）

ページ	訂正前（訂正箇所）	訂正後
p.74	格子状の A 地点	格子状の道路がある．A 地点
p.224	… , … の不足	… , … の追加

第 5 版訂正箇所（2026 年 8 月 1 日公開分）

ページ	訂正前（訂正箇所）	訂正後
p.26	「スポーツも読書も、どちらも好きである」.	「スポーツも読書も、どちらも好きではない」に訂正.
p.29	「子供が隣り合わない」.	「子供どうしが隣り合わない」に訂正.
p.35, p.188	重複順列を 3 種類から取り出す説明.	4 個または 5 個を取り出す説明に訂正.
p.50	対応図の値が本文と不一致.	対応図を $d = 8$ に訂正.
p.74	${}_{10}C_3$	${}_{10}C_4$
p.81	ベイズの定理が限定された形.	互いに排反で全体を尽くす事象に対する一般形に訂正.
p.89	点 P, Q の位置の条件が不足.	点 P, Q を辺 AB, AC 上の点に限定.
p.90	辺と角の大小関係が不一致.	辺と角の大小関係を訂正.
p.120, p.249	長さ 3 の線分を与える設定.	長さ 1 の線分から長さ 3 の AB を作る設定に訂正.
p.125	正二十面体	正十二面体
p.200	移動回数が問題の条件と不一致.	東 3 回・北 3 回・北東 1 回に訂正.
p.200	移動回数が問題の条件と不一致.	東 1 回・北 1 回・北東 3 回に訂正.
p.201	「2 でも 5 でも割り切れる」.	「2 でも 5 でも割り切れない」に訂正.
p.204	さいころの目の和が 8.	さいころの目の和を 7 に訂正.
p.208	当たりが 2 人・4 人の場合の確率が不一致.	側注と確率を訂正.
p.236	垂直二等分線による論証が不足.	垂直二等分線を用いる証明に訂正.
p.238	面積比の導出が不正確.	解答の面積比の導出を訂正.
p.250	側注の命題が不正確.	正しい垂直条件に訂正.
p.254	CM, DM, MN の垂直関係が不足.	垂直関係を補った証明に訂正.
p.256	「少なくとも 2 つ」.	「少なくとも 3 つ」に訂正.
p.257	$6\sqrt{2}$	$8\sqrt{5}$
p.258	27000	$27000n$
p.258	解答側注の分母が 2^2	解答側注の分母を 7^2 に訂正.
p.262	k についての条件が不足.	「 k が素数のとき」を追加.

ページ	訂正前（訂正箇所）	訂正後
p.274	$y = 1$ が不適である場合の説明が不足.	解答に $y = 1$ が不適である場合を追加.
p.278	$y^2 + 2y + 1 - (2y^2 + 2y - 4)$	$y^2 + 2y + 1 - (2y^2 - 2y + 4)$

ワークブック・基本事項まとめについて：

書き込み式ワークブックおよび基本事項まとめについても、本冊の訂正箇所に対応する箇所を訂正しています．

細部の調整について：

上表のほか、誤字・脱字、句読点、助詞、表記の統一、行間、余白、図や側注の位置、参照先、リンク位置などの細部も調整しています．これらは訂正表には記載していません．